

◆『経済倶楽部講演録』

バックナンバーのご案内

＊3月号 三浦まり「『さらば、男性政治』が問いかけること」ケネス・盛・マツケルウエイ「より良い日本国憲法とは」小峰隆夫「2024年日本経済の展望と課題」

＊2月号 小泉悠「ウクライナ戦争の三年目を見通す」小林浩美「女子プロゴルフ改革 私の挑戦」藤原帰一「戦争の時代 2024年の世界」

＊1月号 増田弘「政治家石橋湛山の戦後史上の足跡」高岡健太「アニメは日本を救えるか」町田穂高「習近平は中国外交をどう変えたのか」酒井啓子「ガザ情勢が中東・国際政治に与える影響」

【編集後記】

テレビの討論番組で経済評論もする外国人経営者、デビット・アトキンソン氏が「金利のない世界を容認している日本は資本主義が分かっている」と発言していました。海外からの改革の動きにすべて日本版という冠が付く日本ですが、言ってみればこれは激変緩和措置で、何事も薄めて日本人に馴染むレベルに変える。そのことはそれなりに意味もありますが、逆に世界からの周回遅れの原因にもなっているようです。日銀は3月の政策決定会合で17年ぶりに金利のある世界に踏み出しました。ここから先は少しでも周回遅れを取り戻す政策の継続に注目したいと思います。

次号は長尾年恭氏「令和6年能登半島地震の衝撃」、飯尾潤氏「自民党の危機と日本政治」、唐鎌大輔氏「強い円」はどうして失われたのか、前嶋和弘氏「アメリカ大統領選挙と世界、そして日本」を掲載予定です。

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2024年4月号)

2024(令和6)年4月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 田北浩章 編集人 山縣裕一郎

発行 東洋経済新報社
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)
電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987
e-mail: keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>
印刷・製本 港北メディアサービス

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉